

CASBEE広島における重点項目の環境配慮設計概要

CASBEE-広島 (2010年ver.1)

(仮称)アルファステイツ古市駅南

※下表の空欄に環境配慮設計の概要をコメントしてください。

配 慮 項 目			評価点	重み係数	内 訳					
■1.「地球温暖化対策」の推進										
1.1 建物の熱負荷抑制										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください 住宅性能省エネ等級3相当とした。自主基準で天井に熱橋補強を実施。	1.0	0.08	Q1	室内環境	2	温熱環境	2.1	室温制御	3	外皮性能
	3.0	0.43								
	3.0	0.49								
小計	2.8	0.36								
1.2 自然エネルギーの利用										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください 外皮に2方向面して、有効な採光・通風を確保。	3.0	0.50	LR1	エネルギー	2	自然エネルギー利用	2.1	自然エネルギーの直接利用		
	3.0	0.50								
小計	3.0	0.09								
1.3 設備システムの高効率化										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 共用部の照明点灯方式にタイマー制御・センサー点灯を採用。給湯器に電気温水器を採用。	3.1	1.00	LR1	エネルギー	3	設備システムの高効率化				
小計	3.1	0.18								
1.4 設備システムの効率的運用										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	0.0	0.00	LR1	エネルギー	4	効率的運用	4.1	モニタリング		
	0.0	0.00								
小計	0.0	0.00								
1.5 資源・マテリアル対策										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 極力節水用の給水栓を採用。杭コンクリートにリサイクル材(高炉セメント)を採用。内装材にリサイクル材(磁器質タイル・集成材・パーティクルボード)を採用。	4.0	0.08	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護	1.1	節水		
	3.0	0.12								
	3.0	0.00								
	2.0	0.06								
	3.0	0.19								
	4.0	0.16								
	5.0	0.16								
	2.0	0.04								
	3.0	0.19								
	小計	3.5								
1.6 ライフサイクルCO2排出率										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください 極力CO2の排出を削減した。	4.3	1.00	LR3	敷地外環境	1	地球温暖化への配慮				
小計	4.3	0.11								
1.「地球温暖化対策」の推進の評価			3.2	0.72						
■2.「ヒートアイランド対策」の推進										
2.1 温熱環境の向上										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 オール電化により燃焼機器を無くし、大気汚染物質を排出させない。極力敷地内緑化に努めた。	1.0	0.49	Q3	室外環境(敷地内)	1	生物環境の保全と創出				
	3.0	0.24								
	2.0	0.27								
小計	1.8	0.96								
2.2 交通負荷抑制										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 離合が可能な車路幅を確保した。駐輪駐車スペースを確保するよう努めた。	4.0	1.00	LR3	敷地外環境	2	地域環境への配慮	2.3	地域インフラへの負荷抑制	3	交通負荷抑制
小計	4.0	0.04								
2.「ヒートアイランド対策」の推進の評価			1.9	0.15						
■3.「長寿命化対策」の推進										
3.1 耐用性の向上										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 住宅性能評価劣化対策等級(構造躯体)等級3相当の性能とした。共用部内装仕上げ材は耐用年数が高いものを採用。	3.0	0.47	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.1	部品・部材の耐用年数	1	耐震性
	3.0	0.12								
	4.0	0.09								
	3.0	0.09								
	4.0	0.04								
	3.0	0.03								
	3.0	0.06								
	3.0	0.09								
小計	3.1	0.47								
3.2 設備の更新性										
(コメント) ※設計の計画し特段に配慮した事項を記載してください。 空配管内に配線・呼び線挿入することで、仕上材を傷めることなく通信配線の更新・修繕が出来るようにした。	3.0	0.17	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	1	空調配管の更新性
	3.0	0.17								
	3.0	0.11								
	5.0	0.11								
	3.0	0.22								
	3.0	0.22								
小計	3.2	0.53								
3.「長寿命化対策」の推進の平均点(上記2項目)			3.2	0.13						
■重点項目の総平均(上記3項目)			3.0							